

松永新駐パナマ大使および福島前駐パナマ大使による明珍会長への表敬訪問

10 月 24 日、新しく駐パナマ日本国特命全権大使に発令となった松永一義氏（前駐ナイジェリア大使）および福島秀夫前駐パナマ日本国特命全権大使が川崎汽船本社を訪問され、明珍会長、土屋副会長、篠原理事長と面談を行いました。

面談では、明珍会長より、2021 年の着任以来当協会の活動をご支援いただいた福島前大使に対して、これまでのご尽力について感謝の意を表明するとともに、松永新大使へは日本商船隊の円滑な運航に向けた当協会の活動への継続的なお力添えを願いたい旨が伝達されました。

福島前大使からは、パナマ運河の新水源確保に係る対応の見通しや同国ムリーノ新大統領の政策姿勢などについて解説いただき、特に運河の長期的な施策としての効率化・合理化・脱炭素化に向けた日本企業の参画について期待の言葉がありました。また、松永新大使からは、ご自身の情報通信関係の知見から、同運河の国際的な重要インフラとしての地位に鑑みデータ・通信システムの構築といったハード・ソフト面からの協調も通じて、同国との関係強化に努めていきたいとの発言がありました。

当協会としては、今後も同大使館をはじめとした関係当局と協力し、円滑な国際物流の確保を図るべく活動してまいります。



面談の様子



左から、土屋副会長、福島前大使、
明珍会長、松永新大使、篠原理事長